

IMF サーベイ

欧州銀行業

欧州、危機に陥った銀行の整理機関の設立が不可欠ー IMF 専務理事

IMF サーベイ・オンライン

2010年3月19日

- 欧州の銀行危機回避には、抜本的改革が必要
- 整理機関は危機管理システムの一部に
- 破綻銀行の処理、費用効率の高い手法で実施



欧州旗を掲げる学生たち：IMF 専務理事は、金融制度改革には危機管理も含まれるべきだと述べた。(写真: Alik Keplicz/AP)

国際通貨基金（IMF）のドミニク・ストロスカーン専務理事は、3月19日にブリュッセルで行った演説の中で、危機後の欧州地域の銀行システムの強化には、破綻銀行の整理を行う欧州連合（EU）規模の機関が必要だと述べた。

ブリュッセルで開催された、欧州委員会の会議で行った演説の中でストロスカーン氏は、複数国にまたがる既存の銀行破綻の処理体制では不十分であることが明らかになったと述べた。その結果、国内或いは複数国にまたがる銀行の破綻に対し効果的な対処が困難となっており、各国政府・国民の大きな財政的負担となっている。

ストロスカーン氏は、銀行に問題が生じた場合にはその火種を消し去り、事態が手に負えなくなった際には介入をおこなう「消防隊が欧州には必要だ」と述べた。

また同氏は、リスクテイクは銀行の核心業務だとした上で、リスクを抑制し且つ利益を活用する金融システムを構築することが肝要だと述べた。

さらに、欧州が世界経済危機から脱却するには、企業向け融資、ひいては経済成長のエンジンとして健全な金融機関が必要だと指摘した。

危機の防止・管理のための巨大な防護ネット

ストロスカーン氏は、健全な競争の実現には、銀行が国境を越え業務を行う自由な環境が不可欠だが、このような統合の進んだ銀行システムには、銀行危機を防ぎ、また危機が生じた際には問題を解決する対策が必要だと述べた。

さらに世界危機からの教訓として、協調と管理を強化し責任及びアカウンタビリティ（説明責任）を共有することは、金融機関の母国或いは進出先の国の利益となると指摘した。

欧州委員会が提案している欧州整理機関（European Resolution Authority）は、費用効率良く破綻銀行の処理を行うことが期待されている。

そのアプローチは、株主や無保険債権者が損失を負担するもので、可能な限り、預金保険料や金融機関の負担金など銀行業界から事前に資金を徴収することが望ましいとしている。

またストロスカーン氏は、現在 IMF は金融部門への課税に関する様々な提案を作成しており、これらを4月に開催される、先進並びに新興市場国・地域から成る G20 の会議に提出する予定だと述べた。

同専務理事は、安全な銀行システムに対する責任を強く銀行自身に課す一方、その自己規制だけでは十分ではないと述べた。公益を守る適切な規制及び監督、さらには問題の早期発見のための手段が不可欠である。

銀行破綻に伴う莫大な負担

ストロスカーン氏は、銀行の破綻は、金融システムの負担となるのみならずそのバランスシートにも大きく影響し、さらに国民にとっても大きな負担となると述べた。

欧州委員会が設立した金融の専門家のグループである、ドゥラロズ・グループによる提言を基にした、金融の規制と監督の改革は方程式の一辺に過ぎないとし、ストロスカーン専務理事は、欧州は金融の安定性のシステムの抜本的な改革が必要だと述べた。

「この度の危機は一般市民に大きな打撃を与えた」とストロスカーン氏は述べた。「見かけだけの進歩しか遂げることができず、従来どおりのビジネスを継続させるような、皮相的な改革では十分ではないのだ。」